

ニュースレター

新春だより

明けましておめでとうございます

このところのAIの進歩は著しく、私も、仕事上でも、試みるがあります。若い世代では、AIを単なる道具以上の存在として、感情的な交流を伴うものとしてみている人も多く、対話型AIは、親友、母と並ぶ「第3の仲間」と感じている人も少なからずいるということです。確かに、やり取りをしているうちに、クスツとしたり、ムツとしたりと、感情の芽のようなものを感じることもあります。私の場合は、色々よく知っていて、考え方のヒントやもつれた問題点の整理をしてくれたりと有用性を感じることがある一方、時々、間違っことを自信をもって堂々という、油断はできない知り合いといった存在です。今後も、AIは短期間のうちに人知を超えて進歩を遂げていくことと思いますが、依存することなく、一定の距離感をもった付き合いをしようと感じている昨今です。

なお、この文章は、AIの力は借りていません。

池田 伸之

2026年はどんな年になるか？とAIに質問しました。回答は、「丙午（ひのえうま）の年で、情熱や発展、新しい幕開けを象徴する年となるでしょう。火のエネルギーが強く、物事が加速し、自己表現が重要になります。」「地球と人類のエネルギーが新しい段階に移行する覚醒の年」とありました。目まぐるしい社会変化の中で生きる勇氣と活力を得るには、フェイクな情報に流されず、本当に自分が好きなものが何なのか、どうしたいのか、を大切にしたいと考えています。今年もご交誼のほど、どうぞ宜しくお願いいたします。

池田 桂子

～ 池田総合法律事務所 相続遺言無料法律相談会のご案内 ～

開催日 : 毎月第2、第4土曜日

開催時間 : ①午前10時から、②午前11時から（1日2枠・30分程度）

相談会予約方法

下記電話番号にてご予約ください。お気軽にご相談ください。

※無料法律相談会の相談内容は相続遺言相談に限ります。

☎ 052-684-6290 予約受付時間9:00AM～5:30PM

私は、従前より相続問題に力を入れており、定期的に他士業の方々と相続に関する勉強会を開催しておりますが、近年、相続に絡んで問題となるのが、空き家や所有者の分からない土地建物の問題です。2023年10月1日現在で総務省が実施した令和5年住宅・土地統計調査によりますと、空き家数900万2千戸、空き家率13.8%といずれも過去最高となったそうです。

愛知県弁護士会では、定期的に空き家に関する電話相談を実施するなど、空き家問題に取り組んでおり、2025年11月には、私を含めた愛知県弁護士会の有志で『相談対応事例 空き家・空き地の諸問題－事案解決の道筋と実務のポイント－』を新日本法規出版から発刊しました。

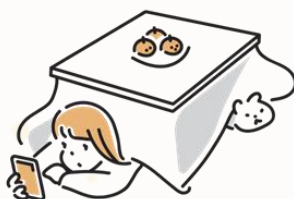
この本自体は、空き家問題に関わる各種士業等事業者向けですが、個人の方でも空き家や所有者の分からない土地建物でお困りの方は、早めにご相談をされると良いのではないかと思います。

川瀬 裕久

2024年に生まれた日本人の子ども数は68.6万人と過去最少を更新した一方で、ペット（犬・猫）の新規飼育数は80.3万匹（一般社団法人ペットフード協会調べ）と、子どもの出生数を上回ったそうです。

私自身は、現在ペットを飼っていませんが、いつか犬を飼いたいと思っています。ペットを飼うことに伴い、様々な法律问题が起こり得ます。昨年11月の事務所ホームページに掲載の法律コラムでは、ペットに関する法律问题について記事を書きました。ご興味のある方は是非ご覧いただければと思います。

石田 美果



人々の暮らしを法律で支える存在になりたいという思いから弁護士を志し、昨年4月から勤務しております。職場環境や経営に悩む労働者・経営者の方々や、家庭問題を抱える方々など、日常の土台が揺らいだときに寄り添える弁護士でありたいと考えております。また、生活や事業の資金繰りが立ち行かなくなった方々にとって最後の手段となる破産手続についても、再出発を支える力となれるよう努めてまいります。

栗本 真結

様々な分野の企業様の顧問弁護士をさせていただいておりますが、昔から産業廃棄物関係、保育園関係などを特徴的な分野として担当させていただいています。

また、破産管財人業務などの裁判所から選任される業務のボリュームも大きくなってきています。特に、破産をした会社の清算処理を、裁判所側で担当するのが破産管財人です。会社の最後ですので、様々な法的な問題が圧縮されたような事案を、一つ一つ紐解いていくのは、苦しくもあり、弁護士として楽しくもあります。

業種を問わず、いろいろな業種の方から、業界の内情をお聞きしつつ、今年も経験を積み重ねていきたいです。

小澤 尚記

令和8年4月からマンション管理のルールが変わります。「老朽化マンション等の管理及び再生の円滑化等を図るための建物の区分所有等に関する法律等の一部を改正する法律」との名称どおり、管理の円滑化も法改正の目的です。今年出版された「ルポ秀和幡ヶ谷レジデンス 栗田シメイ著（毎日新聞出版）」という書籍。マンション管理組合の総会は過半数で決めるのが原則ですが、総会を機能させる困難さについて、とても興味深い内容になっています。ご興味のある方はお休み中にぜひ。

山下 陽平

私的絵画百選 ②④



ジャクソン・ポロック

(1912年1月28日生～1956年8月11日没)

『ブルー ―白鯨』 1943年制作

グワッシュ・インク、ファイバーボード

大原美術館蔵

没後100年といった企画展がよく開催されます。2026年はクロード・モネ(1840年11月14日生まれ～1926年12月5日没)没後100年。誰も知っている睡蓮の連作が今年は、日本各地で見られると思います。世界各地には約250作品の大小さまざまな睡蓮作品を見ることができるようです。

印象派の巨匠といわれるモネですが、没後しばらくは印象派はその後の前衛的なアートに押されて、薄い印象になっていました。50年代に入って、アメリカをはじめ新しい技法を模索していた画家達が抬頭しました。モネの睡蓮の絵のような、全体を覆う画面構成(オールオーバー)は、その後の絵画に大きな影響を与えたともいわれています。部分と全体、前と後、背景と手前のモチーフ、といった視点の動く順序と言ったものがあまりなく、色彩や線で画面全体が覆われ、画面の中心が見られないことで見る者は焦点を合わせることが容易ではありませんが、全体として抒情性が感じられます。ポロックも影響を受けた一人でしょう。

アメリカを代表する現代画家の一人、ジャクソン・ポロックは、床に寝かせたキャンバスに絵の具を垂らすドリッピング技法や流し込みのポーリング技法を確立し抽象表現の第一人者ですが、彼もモネ

の影響を受けたといわれています。一見無秩序のように見えて、ポロック本人は、一定のリズムと絵の具の量をコントロールして描いていると言っていました。

ポロックの絵は圧倒的に迫る気迫、重厚感の感じられる絵が多く、オークションでは、とんでもない高値がつけられます。アルコール依存症であった彼は、飲酒運転の自動車事故のため44歳で亡くなりましたが、その生き方も、ドラマチックです。

『ブルー ―白鯨』と題するこの絵は、ハーメン・メルビルの『白鯨』という著名な小説から着想を得たと言われています。たびたび映画化もされている話は、狂暴、狡猾な白いマッコウクジラに片足を喰いちぎられた船長と仲間が、白鯨モービーデックを追跡し闘う話ですが、ポロックのこの絵には、海原に左上には絶叫する人、中央上には船が円を描いて白鯨をとらえたところを、画面下には人の情念を散りばめた目、鼻、海の生き物などが激しい波間に漂っているように、私には見えます。感じたままを描く、しかし無秩序ではない激しさをもって。ポロックの絵が支持される理由がここにあるようです。

池田 桂子